

# 理 科

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	理科 701・801・901	A4変形 932	令和2年
4	大日本図書	大日本◆	理科 702・802・902	B5 986	
11	学校図書	学 図◆	理科 703・803・903	AB 846	
17	教育出版	教 出◆	理科 704・804・904	AB変型 1,034	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	理科 705・805・905	AB 1,012	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

校 種	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が、補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
観点		
内容の取扱い等	1 障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について 2 障害への配慮を要する内容等について	①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。 ①言葉や音を聞き取る活動があり、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。
構成上の工夫	①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に説明されているもの。

教科書発行者名		東書	大日本	学図
内容	内容区分のページ数	第1分野 422 第2分野 411	440 438	389 365
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野 47 第2分野 38	41 35	52 35
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野 279 第2分野 254	286 304	186 199
	発展的な内容を取り上げている箇所数	71	86	36
	<b>1 聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</b>	18箇所	26箇所	13箇所
	①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	①2年「ホットケーキの秘密」では、温度計付きのかき混ぜ棒で温度の上昇を確かめながらカルメ焼きをつくる活動がある。(P21)	①1年「地面の揺れの伝わり方」では、地震が発生してから揺れ始めまでの時間を地図上に色分けして示し、揺れの伝わり方を確かめる活動がある。(P225)	①2年「からだの動くしくみ」では、上から落されたものさしをつかんだ位置により反応にかかる時間を調べる活動がある。(P135)
	<b>2 聴覚障害への配慮を要する内容等について</b>	3箇所	5箇所	5箇所
①言葉や音を聞き取る活動があり、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。	①1年「音の伝わり方」では、隣り合った音さの一方をたたいたときの、もう一方の音さの反応を、音を聞いて確かめる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P164)	①2年「電磁誘導と発電」では、ペットボトルを利用してスピーカーやマイクを作る活動があり、取り扱う際に、音を聞くことについての配慮が必要である。(P207)	①1年「音の大きさ・高さ」では、離れた地点で鳴らした号砲が何秒後に聞こえたかを調べる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(1年P164)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	1年最初 10.5ポイント 3年最後 10ポイント	1年最初 10.5ポイント 3年最後 10ポイント	1年最初 10ポイント 3年最後 10ポイント
	1ページの基本的な文字数	1年最初 26文字×8行 3年最後 26文字×10行	1年最初 26文字×10行 3年最後 26文字×20行	1年最初 27文字×13行 3年最後 28文字×11行
	欄外の文字の大きさ	1年 7ポイント 3年 8.5ポイント	1年 8ポイント 3年 7ポイント	1年 7.5ポイント 3年 7ポイント
	ふりがな	未習得漢字及び難読漢字	未習得漢字及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	<b>障害の状態に応じた事項、その他</b>	①3年「生物の成長と細胞の変化」では、タマネギの断面の、部位ごとに異なる細胞の様子を、拡大した顕微鏡写真で示している。(P79) ②1年「日常生活のなかの力」では、ポイントとなる力の3つはたらきを色付きの枠囲みで記している。(P173)	①2年「物質をつくっているもの」では、化学式の表し方を、図と矢印を用いて段階的に説明している。(P30) ②各単元において、法則や性質、公式などの重要事項を、太字と枠囲みで強調している。(3年P46など)	①3年「物体の速さ」では、回転するレールの上を転がる球の動きを、連続写真で視覚的に説明している。(P33) ②各単元において、重要事項や公式が淡い背景色のある枠囲みで強調して示している。(1年P78など)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

教科書発行者名		教出	啓林館	
内容	内容区分のページ数	第1分野	462	448
		第2分野	444	396
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野	39	46
		第2分野	32	30
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野	251	308
		第2分野	256	338
	発展的な内容を取り上げている箇所数	78	69	
1 聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について  ①視覚的な方法等を活用して、作業や体験等の学習活動が工夫できるもの。	18箇所	24箇所		
	①3年「遺伝の規則性」では、メンデルの実験を、封筒とカードを使ったモデル実験により視覚的に確認する活動がある。(P100-101)	①1年「地層・化石と大地の歴史」では、4つの地層の特徴を全体の写真と拡大した写真を見て、視覚的に取り組める活動がある。(P111)		
2 聴覚障害への配慮を要する内容等について  ①言葉や音を聞き取る活動があり、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。	5箇所	5箇所		
	①1年「音の伝わり方」では、音の伝わる様子を聞いて確かめる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P259)	①3年「エネルギーの変換と保存」では、エネルギーの変換を、電子エネルギーの音で確認する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P224)		
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	1年最初 13ポイント 3年最後 10.5ポイント	1年最初 10ポイント 3年最後 11ポイント	
	1ページの基本的な文字数	1年最初 37文字×5行 3年最後 39文字×9行	1年最初 23文字×5行 3年最後 26文字×20行	
	欄外の文字の大きさ	1年 8ポイント 3年 7ポイント	1年 8.5ポイント 3年 7.5ポイント	
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得漢字及び難読漢字	
	障害の状態に応じた事項、その他  ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。  ②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①3年「酸性・アルカリ性の強さ」では、各種指示薬の色の変化を、写真を用いた表で視覚的に説明している。(P35)	①2年「風がふくくみ」では、天気図の高気圧と低気圧を、地形図に例えた図で説明している。(P98)	
		②各単元において、学習のポイントとなる事項を、「課題」として太字と色付きの枠囲みで強調して示している。(2年P232など)	②各章末に、「基本のチェック」があり、学習を振り返るための問題と該当のページが示している。(2年P17など)	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	

発行者		東書	大日本	学図	
内容区分のページ数	第1分野	422	440	389	
	第2分野	411	438	365	
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野	47	41	52
		第2分野	38	35	35
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野	279	286	186
		第2分野	254	304	199
発展的な内容を取り上げている箇所数		71	86	36	
内容	<b>1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</b> ①上肢の操作を伴うものであっても、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付き、生活経験を広げる学習活動が示されているもの。	28箇所 ①2年「化学変化を化学式で表す」では、発泡ポリスチレンの球を使って物質の粒子モデルを作る活動があるが、シールや丸い形のカードで作成するなどの工夫ができる。(P43) ②1年「地震が起こるところ」では、こんにやくを使って、地震の揺れの伝わり方や、断層の様子を確かめる活動を紹介している。(P220)	34箇所 ①3年「星の1日の動き」では、天体シミュレーションソフトを活用して天体の動きを確かめる方法を示している。(P238) ②1年「身のまわりの気体」では、ジャガイモやオキシドールなどの家庭にあるものを使った気体発生実験を紹介している。(P97)	10箇所 ①2年「化学変化と原子」では、原子カードを作る活動があるが、実態に応じた作り方が工夫できる。(P24) ②1年「光の進み方」では、タブレット端末の画面に天井の電灯が反射する経験を基に光の反射を考える活動がある。(P135)	
	<b>2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</b> ①上肢の操作を伴うため、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	18箇所 ①1年「身近な動物の分類」では、煮干しのからだの側面をピンセットではがしとる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47) ②2年「ホットケーキの秘密」では、ホットケーキがふくらむ理由を、条件を変えて調理しながら考える方法が示されており、食物アレルギーへの配慮が必要である。(P16)	18箇所 ①3年「遺伝の規則性」では、形質の伝わり方を確かめる実験で、遺伝子に見立てた割り箸を割る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P111) ②2年「熱による分解」では、ホットケーキがふくらむ理由を、条件を変えて調理しながら考える活動があり、実験を行う場合、食物アレルギーへの配慮が必要である。(P13)	12箇所 ①2年「からだが動くしくみ」では、隣の人に手を握られたらすぐに反対側の人の手を握り、反応時間を調べる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P132) ②該当なし	
	本文の文字の大きさ	1年最初 10.5ポイント 3年最後 10ポイント	1年最初 10.5ポイント 3年最後 10ポイント	1年最初 13ポイント 3年最後 10.5ポイント	
	1ページの基本的な文字数	1年最初 26文字×8行 3年最後 26文字×10行	1年最初 26文字×10行 3年最後 26文字×20行	1年最初 37文字×5行 3年最後 39文字9行	
欄外の文字の大きさ	1年 7ポイント 3年 8.5ポイント	1年 8ポイント 3年 7ポイント	1年 8ポイント 3年 7ポイント		
構成上の工夫	ふりがな 未習得及び難読漢字 <b>障害の状態に応じた事項、その他</b> ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①3年「仕事と力学的エネルギー」では、仕事を求める式を色付きの枠囲みで示している。(P170) ②3年「生態系」では、植物と草食動物、肉食動物の数量の関係を、立体的なピラミッド図で視覚的に説明している。(P259)	①各単元において、法則や性質、公式などの重要事項は、太字と枠囲みで強調して示している。(2年P186など) ②1年「物質の溶解と粒子」では、コーヒーシュガーが水に溶ける経過を、写真とモデル図で視覚的に説明している。(P120)	①実験ページには特に注意が必要な作業には、「ストップ」のマークと注意点が、赤字と黄色の囲みで簡潔に示している。(1年P136-137など) ②2年「化学変化と原子」では、物質の化学式を模型図で視覚的に説明している。(P31)	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	

発行者		教出	啓林館	
内容区分のページ数	第1分野	462	448	
	第2分野	444	396	
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野	39	46
		第2分野	32	30
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野	251	308
		第2分野	256	338
発展的な内容を取り上げている箇所数		78	69	
内容	<b>1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</b> ①上肢の操作を伴うものであっても、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付き、生活経験を広げる学習活動が示されているもの。	20箇所 ①1年「動物の分類」では、動物の分け方や観点を付せんに書き出して分類する活動があるが、カードやタブレット端末に替えて行うなどの工夫ができる。(P69) ②2年「カルメ焼きが膨らむわけ」では、熱分解による炭酸水素ナトリウムの変化について、カルメ焼きづくりを通して考える活動がある。(P30)	19箇所 ①1年「生物のなかま分けのしかた」では、身のまわりの生物を付せんに書き出し、分類する活動があるが、カードやタブレットに替えて行うなどの工夫ができる。(P14-15) ②3年「酸性・アルカリ性の強さ」では、食酢や石けん水などの身近にある液体を、酸性、中性、アルカリ性に分類する活動を示している。(P153)	
	<b>2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</b> ①上肢の操作を伴うため、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等にかかわる配慮が必要なもの。	13箇所 ①3年「生物どうしのつながり」では、デンプン液の変化を調べる実験で、試験管にヨウ素液を2滴加える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P271) ②該当なし	13箇所 ①3年「力の合成」では、2本ばねばかりを力の調整をしながら引く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P184-185) ②2年「物質を加熱したときの变化」ではどら焼きの生地を焼く実験があり、食物アレルギーへの配慮が必要である。(P144)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	1年最初 10ポイント 3年最後 10.5ポイント	1年最初 10ポイント 3年最後 11ポイント	
	1ページの基本的な文字数	1年最初 27文字×13行 3年最後 23文字×10行	1年最初 23文字×5行 3年最後 26文字×20行	
	欄外の文字の大きさ	1年 7.5ポイント 3年 7ポイント	1年 8.5ポイント 3年 7.5ポイント	
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	
	<b>障害の状態に応じた事項、その他</b> ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に説明されているもの。	①各単元末に、要点と重要用語を見開きでまとめている。(2年P152-153など) ②1年「地震が起こる仕組み」では、日本列島と太平洋側にある海溝との間に震源が集中している様子を、震源の分布図で視覚的に説明している。(P204)	①分野ごとに「学習のまとめ」があり、重要語句やその説明が見開きでまとめている。(1年P194-195など) ②3年「星座の星の動き」では、四季の星座の写真を本文の上段に見開きで示している。(P78-79)	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	
	一次エネルギーや再生可能エネルギーの扱い	あり	あり	
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	

